

平成28年12月 第116回

大野・勝山地区広域行政事務組合議会 定例会 会議録（第1日）
議 事 日 程（第1号）

平成28年12月22日（木）
午前10時00分 開 議

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 会期の決定
- 第3 議案第8号 平成28年度大野・勝山地区広域行政事務組合一般会計補正予算（第1号）
議案第9号 平成28年度大野・勝山地区広域行政事務組合ふるさと市町村圏振興事業特別会計補正予算（第1号）
認定第1号 平成27年度大野・勝山地区広域行政事務組合一般会計及びふるさと市町村圏振興事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 第4 一般質問（質疑）

出 席 議 員（10名）

1番	竹内和順君	2番	下道恵子君
3番	松山信裕君	4番	乾章俊君
5番	北川晶子君	6番	堀田昭一君
7番	松田元栄君	8番	梅林厚子君
9番	畑中章男君	10番	砂子三郎君

説明のため出席した者

管理者 岡田高大君 副管理者 山岸正裕君

参 事 田 中 雄一郎君
愛護センター
所長 松 田 公 二 君
総務部長 上 出 康 弘 君
事務局長 櫻 井 早 苗 君

参 事 松 村 誠 一 君
会計管理者 川 端 秀 和 君
事務局次長 宇 野 正 志 君

書 記

書記長 西 川 千鶴代
書 記 多 田 桂 子

書記長補佐 岸 田 尚 悟
書 記 前 田 晃 宏

議事

(午前10時00分 開会)

○ 議長（松山信裕君）

おはようございます。

これより平成28年12月第116回大野・勝山地区広域行政組合議会定例会を開会いたします。

本日の議事日程は、お手元にお配りしたとおりであります。

直ちに本日の会議を開きます。

これより日程に入ります。

日程第1「会議録署名議員の指名」を行います。会議録署名議員は会員規則第73条の規定により、議長において

5番 北川晶子君、

6番 堀田昭一君

の両名を指名いたします。

日程第2「会期の決定」を議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会議につきましては、先刻、議会運営委員会において協議の結果、本日1日とすることで意見の一致を見ておりますので、そのようにいたしたいと思っております。

これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長（松山信裕君）

ご異議なしと認めます。よって、本定例会の会議は本日1日と決定いたしました。

日程第3

議案第8号 平成28年度大野・勝山地区広域行政事務組合一般会計補正予算（第1号）

議案第9号 平成28年度大野・勝山地区広域行政事務組合ふるさと市町村圏振興事務特別会議補正予算（第1号）

認定第1号 平成27年度大野・勝山地区広域行政事務組合一般会計及びふるさと市町村圏振興事業特別会計歳入歳出決算の認定について

以上3件を一括して議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

(管理者 岡田高大君 登壇)

○ 管理者（岡田高大君）

第116回大野・勝山地区広域行政事務組合議会定例会の開会に当たり、最近の諸情勢や本広域行政事務組合の主要な事業の取り組み状況について申し述べますとともに、提案いたしました各議案の概要についてご説明申し上げます。

提案理由の説明に入ります前に、三笠宮崇仁親王殿下におかれましては、去る10月27日に薨去（こうきょ）されました殿下におかれましては、国際親善やスポーツレクリエーション、芸術、文化、医療、福祉など、幅広い分野にわたり皇族として重要な役割を果たされました。ここに謹んで哀悼の誠をささげますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

さて、今年も残すところあと10日となりましたが、この1年を振り返ってみますと、全国各地で大規模な地震や火山の噴火、さらには梅雨前線による大雨やたび重なる台風の上陸などによる自然災害が数多く発生し、各地に甚大な被害を及ぼした年でありました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、全ての被災者の皆さまに心よりお見舞いを申し上げ、被災地の一日も早い復旧、復興を願うものであります。

一方、リオデジャネイロで開催されたオリンピック、パラリンピックでは日本選手団が活躍し、日本中に大きな感動と勇気を与えてくれました。本県ゆかりの選手も多く出場し

ましたが、特に勝山市出身の山口 茜選手がバドミントン競技女子シングルスで見事にベスト8の成績を収めたことは記憶に新しいところでもあります。

2年後の福井しあわせ元気国体、そして4年後の東京オリンピックにおきましても、山口選手をはじめ、多くの奥越地区出身の選手の方々が出場し活躍されるよう大いに期待いたしております。

それでは、本広域行政事務組合の主要な事業の取り組み状況について申し上げます。

当圏域の重要課題であります中部縦貫自動車道や国道、県道の幹線道路の整備促進などにつきまして、本年の国及び県に対する要望活動を行ってまいりました。

まず中部縦貫自動車道の整備状況について申し上げますと、永平寺大野道路永平寺東・上志比間につきましては、本年度の供用開始に向け予定どおりに整備が進んでいるところであり、福井北ジャンクションから大野インターチェンジまでの区間が来春には全線開通することとなります。これに併せた周辺道路の整備も着実に進められており、国道157号大野バイパスにつきましては、大野市菖蒲池地係での最終工事が終了し、去る9月29日に全線供用となりました。

また、一般県道勝山インター線につきましては、九頭竜川に架かる新たな勝山恐竜橋が去る11月6日に供用開始となり、勝山インターチェンジから勝山市街地への交通の利便性が各段に向上したところであります。

また、大野油坂道路大野東・和泉区間には、国の大型補正予算が計上され、荒島第二トンネル西勝原地区進入路整備工事や下山トンネル進入路整備工事などが追加発注されると聞いており、中部縦貫自動車道の平成34年度の全線開通に向けて着々と整備が進むものと期待しているところであります。

事業の進捗(しんちよく)状況について申し上げますと、大野・大野東間につきましては、本年度中の幅ぐい設置を目指しており、大野東・和泉区間では、荒島第一トンネルに侵入するための施工ヤード整備工事や勝原の白谷川橋台工事、下山の九頭竜川橋の下部工事が進められております。和泉・油坂区間では川合地区で来年度の、仮称ではありますが、川合トンネル発注に向けた工事用道路などの説明会が開催されております。長野・大谷間では境界確定の押印が完了したことから、順次用地取得に着手しております。箱ヶ瀬・東市布間では境界確定の押印会が進められており、用地取得に向けた準備が進められているとのことであります。

当組合といたしましても、一日も早い全線供用開始に向け、安定的な予算確保と着実な事業推進を関係機関に対しまして継続的に要望してまいりたいと考えておりますので、今後とも議員各位のご支援とご協力をお願い申し上げます。

次に、ごみ処理の状況について申し上げます。

まず、ごみ処理施設、ビュークリーンおくえつにおける本年11月末のごみ処理量につきましては、1万3,964トンを焼却処理しております。また、再資源化物として、2,003トンを回収しており、昨年と比べましてごみ処理量も再資源化物の回収量も減少はしております。

平成18年7月の本格稼働からおおむね順調な稼働を続け、現在も安定した運転管理となっておりますが、機械設備の一部に建設から丸10年が経過したことによります経年的な劣化が見られますので、大規模な故障が生じないように、排ガスの法定基準を順守するとともに、計画的な保守点検を行いたいと考えております。

また、最終処分場エコバレーにつきましては、放流水の水質基準を順守するとともに、雨水排除対策も行いながら、安定した埋め立てを行っており、今後とも環境保全に細心の注意を払ってまいります。

次に、介護保険認定審査と障害者介護給付市町村審査について申し上げます。

本年11月末の審査状況は、介護認定審査会で2,447人、障害者介護給付市町村審査会で74人となっております。

高齢者への介護サービスや障害者への支援につきましては、公平、公正かつ適正な審査が求められておりますので、今後とも両審査会の円滑な運営に努めてまいりたいと存じます。

次に、青少年健全育成について申し上げます。

奥越青少年愛護センターでは地域における青少年の非行防止や健全育成を図るため、170人の補導委員を中心に街頭補導と愛の一声運動を推進していますが、本年は11月末で交通指導などの声掛けを239人に行っております。また、青少年指導委員によります面接や電話によります相談活動では14件の電話相談を受けております。

さらに社会福祉や環境美化活動などに尽くした青少年を顕彰いたします善行青少年表彰を本年度も予定しており、現在各学校や関係機関などに推薦をお願いしているところであります。今後とも地域の皆さまや関係機関などと連携を取りながら、青少年の健全育成に努めてまいります。

次に、広域観光の推進について申し上げます。

全国的に知名度が高まっております国内最大級の自然史系博物館の福井県立恐竜博物館や天空の城越前大野城などを中心とする観光地への観光客や祭りや食を楽しまれる観光客

などで、圏域内を訪れる観光客は増加傾向にあります。

圏域内では奥越前観光連盟を中心に大野市、勝山市と連携し、奥越前の魅力発信と観光誘客の促進に努めております。

これまで6年間継続して実施してまいりました奥越前スタンプラリーを本年より奥越前良縁さんぽ大野・勝山パワースポット巡りとして新たに実施しております。大野市、勝山市のそれぞれの観光スポット各5カ所で購入することができる大野絵馬と勝山絵馬を一組に合わせた良縁絵馬として、縁結びの神社として名高い大野市の春日神社と勝山市の結神社に願い事を込めて奉納するものであります。

また、九頭竜テラル高原推進協議会では、情報発信の根幹であります公式ホームページを全面リニューアルいたしました。さらに、これを記念したスキー場リフト券プレゼントキャンペーンを実施し、九頭竜テラル高原の知名度を高めるとともに、奥越前のスキー場への誘客の拡大に努めております。

なお、今シーズンからこれまで閉鎖しておりました六呂師高原スキー場が新たな形で営業開始される所であり、圏域内の各スキー場が雪に恵まれ、たくさんの人でにぎわうことを心から祈念する所であります。

さらに、圏域を超えた活動といたしましては、福井坂井奥越広域観光圏推進協議会での台湾をターゲットとしますインバウンド事業や環白山広域観光推進協議会での白山周遊キャンペーン事業と連携して、出向宣伝などを行っております。

今後も関係団体と連携を強化し、さらなる誘客と奥越前を中心としました観光周遊を促進してまいりたいと存じます。

次に、当組合の公式ホームページについて申し上げます。

利用される皆さま方の利便性や操作性を考

慮し、当組合の公式ホームページを本年6月1日から全面リニューアルして公開いたしました。トップページにはごみの特別受け入れに関する日時やごみ出しの注意事項、また当組合が取り組んでいます観光イベントのお知らせなどを表示するとともに、組合議会情報も掲載しております。

今後ともホームページの機能を十分に生かしながら、最新情報の的確な発信に努めてまいりたいと考えております。

それでは、ただ今上程されました議案について申し上げます。予算議案につきましては、一般会計とふるさと市町村圏振興事業特別会計の補正予算が2件、そして平成27年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算の認定が1件であります。

各議案の内容につきましては、事務局長から説明いたさせますので、慎重にご審議の上、妥当なる決議を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(事務局長 櫻井早苗君 登壇)

○ 事務局長(櫻井早苗君)

私から補正予算2議案と決算認定1議案の内容についてご説明申し上げます。

まず

議案第8号 平成28年度大野・勝山地区広域行政事務組合一般会計補正予算(第1号)

について説明いたします。

今回の補正では、歳入歳出予算の総額にそれぞれ2,174万5,000円を追加し、補正後の総額を12億6,912万1,000円とするものです。

歳入歳出の款項の区分及び当該区分ごとの金額につきましては、3号、4号の「第1表歳入歳出予算補正」にお示ししてあるとおりです。

最初に、歳出から説明いたしますので、4号をお開きください。

款2総務費2,174万5,000円増額の主なものは、大野市、勝山市への返還金の増額と職員給与費の減額です。

次に、歳入を説明いたしますので、3号をお開きください。

款1分担金及び負担金358万円の減額は、大野市、勝山市からの負担金です。款6繰入金12万円の増額はふるさと市町村圏振興事業特別会計からの繰入金です。款7繰越金2,520万5,000円の増額は、平成27年度の決算に伴います繰越金です。

次に、

議案第9号 平成28年度大野・勝山地区広域行政事務組合ふるさと市町村圏振興事業特別会計補正予算(第1号)

について説明いたします。

今回の補正では歳入歳出予算の総額にそれぞれ12万円を追加し、補正後の総額を539万円とするものです。

歳入歳出の款項の区分及び当該区分ごとの金額につきましては、3号、4号の「第1表歳入歳出予算補正」にお示ししてあるとおりです。

最初に、歳出から説明いたしますので、4号をお開きください。

款1総務費12万円の増額は一般会計の繰出金です。

次に、歳入を説明いたしますので、3号をお開きください。

款1財産収入で、ふるさと市町村圏基金利子分22万円を減額し、款2繰入金の一般会計繰入金を同額の22万円増額しております。款3繰越金12万円の増額は、平成27年度の決算に伴います繰越金です。

次に、

認定第1号 平成27年度大野・勝山地区広域行政事務組合一般会計及び

ふるさと市町村圏振興事業特別会計歳入歳出決算の認定について

説明いたします。

これは地方自治法第292条において準用する同法第233条第3項の規定により、平成27年度大野・勝山地区広域行政事務組合一般会計及びふるさと市町村圏振興事業特別会計の歳入歳出決算について、監査委員の意見を付して議会の認定をお願いするものです。

なお、平成27年度決算に係る主要な施策の成果に関する説明書を添付しておりますので、後ほどご覧いただきたいと存じます。

決算書の内訳につきましては、平成27年度大野・勝山地区広域行政事務組合歳入歳出決算書の総括表にて説明させていただきます。

それでは、3分をお開きください。

まず一般会計ですが、歳入決算額は12億4,299万5,778円、歳出決算額は12億1,778万9,615円で、差引残額は2,520万6,163円となりました。

次に、ふるさと市町村圏振興事業特別会計では、歳入決算額は535万823円、歳出決算額は523万652円で、差引残額は12万171円となりました。

両会計ともに、形式収支並びに実質収支は黒字となっております。

説明は以上でございます。

○ 議長（松山信裕君）

会議の途中ではありますが、暫時休憩いたします。

（午前10時20分 休憩）

（午前11時06分 再開）

○ 議長（松山信裕君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

これより質疑並びに日程第4「一般質問」

を合わせて行います。

（沈黙）

○ 議長（松山信裕君）

通告がございませんでしたので、これにて質疑並びに一般質問を終結いたします。

これより議案第8号、議案第9号及び認定第1号の3件に対する討論に入ります。

（「なし」の声あり）

○ 議長（松山信裕君）

討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

これより採決いたします。

議案第8号 平成28年度大野・勝山地区広域行政事務組合一般会計補正予算（第1号）

議案第9号 平成28年度大野・勝山地区広域行政事務組合ふるさと市町村圏振興事業特別会計補正予算（第1号）

認定第1号 平成27年度大野・勝山地区広域行政事務組合一般会計及びふるさと市町村圏振興事業特別会計歳入歳出決算の認定について

以上3件を一括して採決いたします。

お諮りいたします。以上3件については、原案どおり可決、認定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○ 議長（松山信裕君）

ご異議なしと認めます。よって、議案第8号、議案第9号及び認定第1号の3件は原案どおり可決、認定されました。

以上で本定例会の附議事件は全て議了いたしました。

これをもちまして、平成28年12月第116回大野・勝山地区広域行政事務組合議会定例会を閉会いたします。

大変ご苦労さまでございました。

(午前11時09分 閉会)